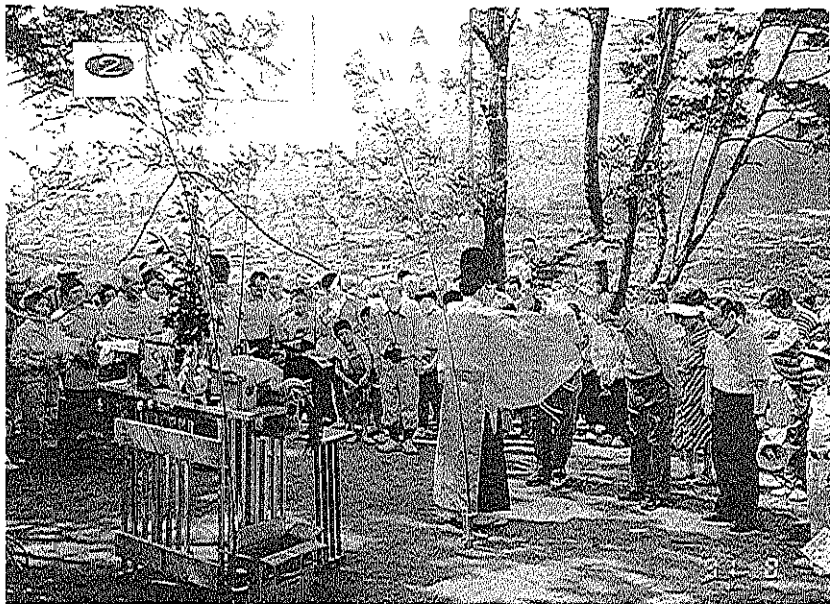


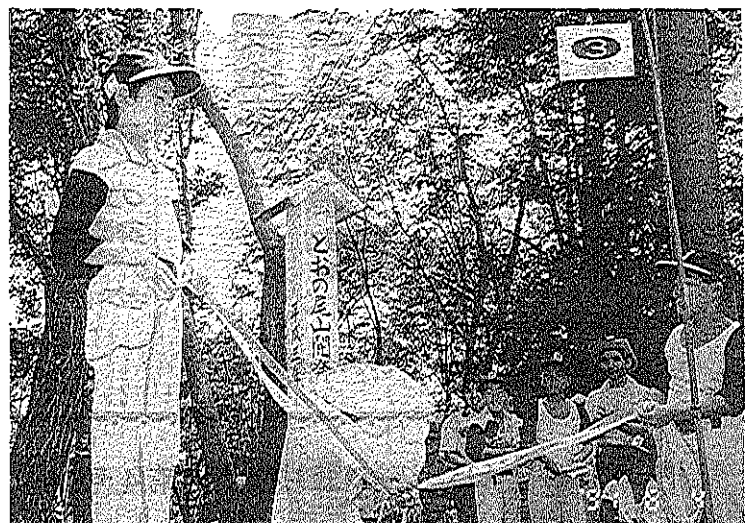
とおの山 山開き特集

桜木地区が、ふるさと創生事業として地区挙って取り組んだ「とおの山開き整備」の大事業が完成し、八月四日午前十時から、眺望絶佳のとおの山山頂で山開き式典を行い、神事による安全祈願祭のほか各種の催しで賑わった。

この事業は、平成元年五月に基本方針を決定し、徹底した検討準備の段階を経て作業に着手したが、山中に「無から有を生ぜしめる」の言葉とおりの困難な事業であっただけに地区民の喜びはひとしをのものがあふ。



【写真】① 式典開始前、子供と談笑される徳山市長。② 神事（清めの儀・神官は久米天満宮宮司）。③ 開発整備記念碑の序幕（序幕は桜木小学校4年・藤井史夫君と、同山下繁雄君）。④ 記念碑（碑文の揮毫は栗崎雅室先生）。⑤ 山頂に設置された水洗式の手洗所ボックス。⑥ 御神酒を手「とおの山・山開き万歳」三唱。



お知らせ

★山開き現地での個人別登山記念写真★

山開き当日、とおの山の山頂で、登山して来られた人々の表情を、記念写真にそれぞれ個別に撮影されたのは、西京銀行桜木支店の方々の現地協力によるものです。（当日山頂で冷たいおシボリのサービスも、同支店の方々です）

この記念写真は同銀行桜木支店のロビーに展示されますので見に行かれ、自分の写真があれば自由にお持ち帰り下さい。

＝〔西京銀行桜木支店の皆様、有難うございました。〕＝



介護のコツ、要領を学ぶ

☆学習内容☆

1. 介護の基本 ……(8月7日祝)
2. 食事のお世話 ……(8月20日祝)
3. 排泄のお世話 ……(8月23日祝)
4. 身体の清潔 ……(9月3日祝)
5. 体位交換と床擦れ予防 ……(9月11日祝)
6. 移動のお世話 ……(9月17日祝)
7. 寝まきシーツの交換 ……(9月26日祝)
8. 痴呆予防と対策 ……(10月1日祝)
9. 在宅福祉サービスの利用 ……(10月9日祝)
10. その他・反省会 ……(10月15日祝)

同居の高齢者が病床にある場合の家族介護の諸問題は、高齢化社会が避けて通れぬ難しい問題の一つである。地区社会福祉協議会では、本年度の研修事業の中の重要な点として、「在宅介護要領の学習」をとりあげ、表のように十回シリーズで開講する。市の特養老人施設「鼓海園」の指導協力を得て、同園の専門指導者から各種の介護要領を項目別に学習をするものである。

★シリーズ途中で
受講申込歓迎します★
 一人でも多くの方に学習の機会を、の考慮から、主催側では第一回の八月七日以降でも受講申込を受付けるので申込を、と呼びかけている。
 (受講料等は不要)
 ●申込先、桜木公民館
 (☎2815973番)
 「問い合わせは公民館へ」

在宅老人お世話(介護)教室

桜木地区社会福祉協議会が主催
 八月から十回シリーズで、会場は桜木公民館

寝たきりゼロへの十ヶ条(厚生省)
 第一條・脳卒中と骨折予防
 寝たきりゼロへの第一歩

★ソフトボールの部(男子)

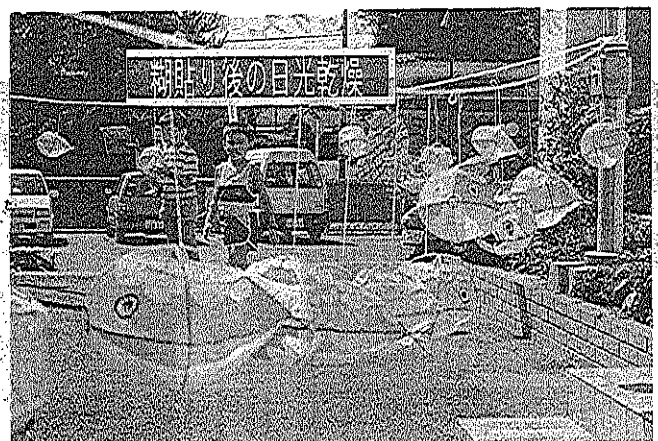
優勝	桜木3丁目
2位	城ヶ丘3丁目
3位	〃 2丁目
〃位	〃 5丁目

★ソフトボールの部(女子)

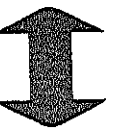
優勝	市住1 Aチーム
2位	桜木3 B〃
3位	城ヶ丘3 A〃
〃位	〃 2 A〃

球技大会
 成績
 (平成3年度)
 桜木区連合子ども会

7月21日(日)実施の成績結果は上表のとおりでした。
 優勝チームは、8月18日(日)に開催の徳山市大会に出場します。



さわやか学級の「金魚ちょうちん」工作教室



市民参加文集「わたしのまち徳山」第4号 作品募集

徳山市明るい選挙推進協議会では、「うるおい」と「活力」のあるまちづくりに関して、多くの市民の方から各種の提案や実践活動の状況を募集しています。
 次の応募規定を読まれて、多数の方々から応募されることを期待しています。

応募規定

- ①内容・☆私(献ち)は、こうしたら力強くまちづくりが実行出来ると考えている。
 ☆私(献ち)は、地域の人と、こんなことを実行している。(したいと思っている)(誰かしている)
 ☆市の行政、議会、企業等の機関は、このようにしてもらいたいと思っている。
 - ②形式・作文や詩で表題は自由(400字詰原稿紙4枚以内)
 - ③締切日・平成3年9月20日(金)。
 - ④資格・徳山市民であれば年齢制限なし。
 - ⑤提出先・徳山市明るい選挙推進協議会事務局。(徳山市岐山通り1の1・徳山選挙管理委員会内・☎22-8521)
 - ⑥[賞]・優秀賞10点 努力賞20点(贈あり)
- ※入選発表は平成3年11月 ※お問い合わせは、⑤に記載のところにお願いします。

今年六月に開講した「さわやか学級」の八月の学習は、子供と一緒に、慣れない手つきで「金魚ちょうちん」作りでした。竹ひごの加工、和紙の貼りつけ等に終日悪戦苦闘。ほんとにサワヤカでした。